

# JA日本債券ファンド

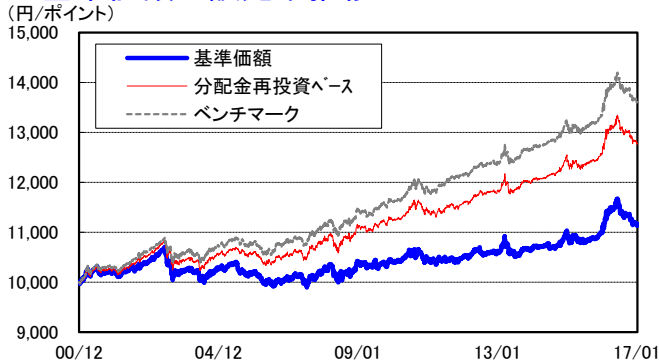
設定日:2000年12月22日 償還日:無期限 決算日:7月16日(休業日の場合は翌営業日)

追加型投信/国内/債券

## ●商品の特徴

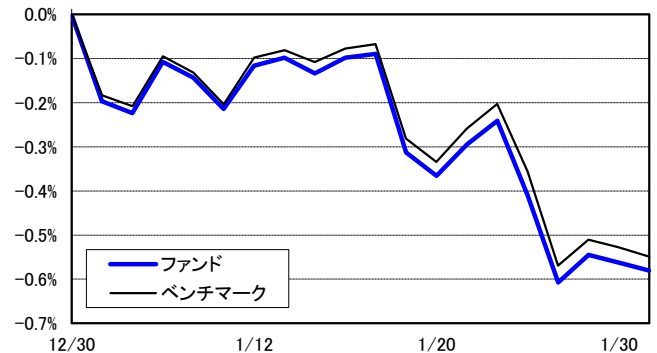
- 当ファンドは、JA日本債券マザーファンドを主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、わが国の公社債を中心に投資を行います。
- 運用にあたっては、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得に努め、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合を上回る投資成果を目指します。
- 公社債の組入比率は原則として高位に保ちます。また、外貨建資産については、投資を行いません。

## ●基準価額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したものと計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。  
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。  
※2 ベンチマークの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。  
※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ●当月のパフォーマンス推移



## ●設定来の運用実績

	ファンド騰落率 (分配金再投資) (1) (%)	ベンチマーク騰落率 (2) (%)	差異 (1)-(2) (%)
過去1ヵ月	-0.58	-0.55	-0.03
過去3ヵ月	-1.83	-1.74	-0.09
過去6ヵ月	-2.97	-2.96	-0.02
過去1年	0.86	1.13	-0.27
過去3年	5.90	7.08	-1.17
設定日来	27.72	36.20	-8.48

※1 ファンド騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。  
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。  
※2 ファンド騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ●基準価額と純資産総額

年月日	基準価額 (円)	NOMURA-BPI総合 (ポイント)	純資産総額 (百万円)	マザーファンド <sup>*</sup> 純資産総額 (百万円)
2017/01/31	11,136	377.74	991	53,808
2000/12/22 (設定日)	10,000	277.34	17	10,079

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。  
※2 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

## ●直近6期の分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2016/07/19	39
2015/07/16	55
2014/07/16	97
2013/07/16	114
2012/07/17	115
2011/07/19	100
設定来合計	1,425

※ 1万口当たりの実績です。

## ●信託財産の構成

ファンド	比率(%)
マザーファンド <sup>*</sup> 受益証券	100.2
国内債券	-
債券先物・オプション	-
短期資産等	-0.2
合計	100.0

※1 比率は純資産総額対比です。  
※2 短期資産等には、コール・ローン、CP、CD、未収金、未払金等が含まれます。

マザーファンド	比率(%)
国内債券	99.3
債券先物・オプション	-
短期資産等	0.7
合計	100.0

※1 比率は純資産総額対比です。  
※2 短期資産等には、コールCD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

# JA日本債券ファンド

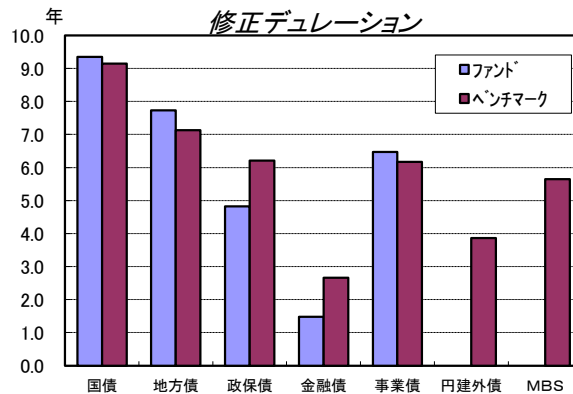
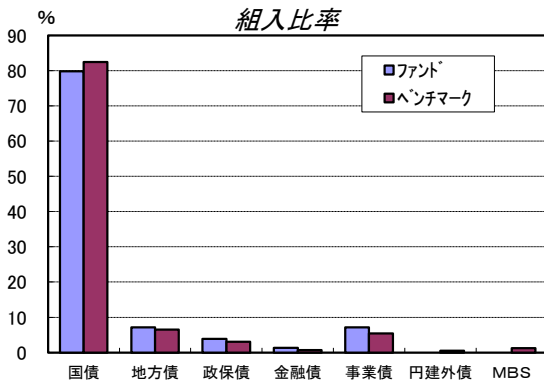
追加型投信／国内／債券

## <マザーファンドの運用状況>

### ●種別組入比率

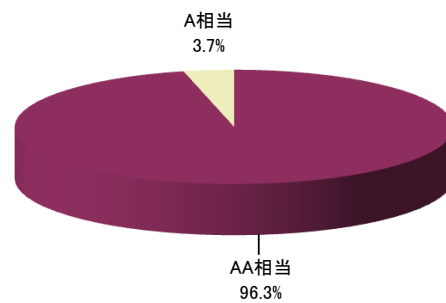
	組入比率 (%)			修正デュレーション (年)		
	ファンド*	ベンチマーク	差	ファンド*	ベンチマーク	差
国債	79.9	82.5	-2.6	9.35	9.15	0.20
短期(0-3)	13.8	16.6	-2.7	2.02	1.90	0.12
中期(3-7)	21.9	22.1	-0.2	4.36	4.63	-0.28
長期(7-)	44.2	43.8	0.3	14.11	14.16	-0.05
長期(7-11)	15.6	14.4	1.3	8.40	8.33	0.07
超長期(11-)	28.5	29.5	-0.9	17.24	17.00	0.24
地方債	7.1	6.5	0.6	7.73	7.13	0.60
政保債	3.8	3.0	0.8	4.83	6.21	-1.38
金融債	1.3	0.7	0.6	1.48	2.66	-1.18
事業債	7.1	5.4	1.7	6.47	6.17	0.30
円建外債	-	0.5	-0.5	-	3.87	-
MBS	-	1.2	-1.2	-	5.65	-
債券合計	99.3	100.0	-0.7	8.75	8.64	0.11
短期資産等	0.7	-	0.7	-	-	-
合計	100.0	100.0	-	8.68	8.64	0.04

※1 事業債には、社債、特殊債の一部が含まれます。  
 ※2 比率は純資産総額対比です。



### ●格付別組入比率 (%)

格付	ファンド*
AAA相当	-
AA相当	96.3
A相当	3.7
BBB相当	-
BB相当以下	-
合計	100.0



※1 比率は国内債券現物対比です。  
 ※2 格付けは、原則としてR&I、JCRのうち低位のものを採用しています。

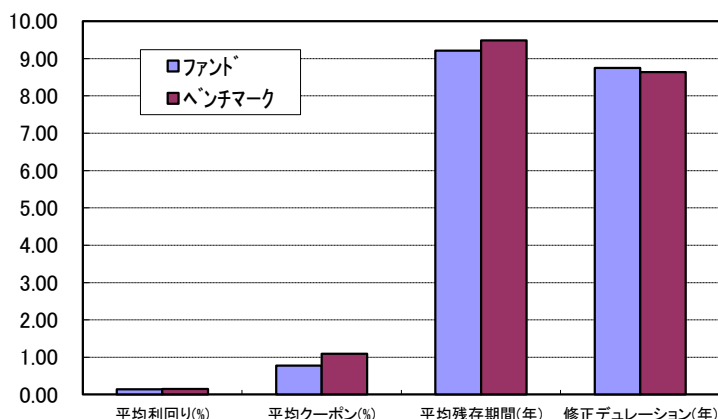
# JA日本債券ファンド

追加型投信/国内/債券

## <マザーファンドの運用状況>

### ●保有債券の属性

	ファンド	ベンチマーク	差
平均利回り(%)	0.14	0.15	0.00
平均クーポン(%)	0.78	1.09	-0.31
平均残存期間(年)	9.21	9.48	-0.27
修正デュレーション(年)	8.75	8.64	0.11



### ●組入上位15銘柄

順位	銘柄名	クーポン(%)	償還日	組入比率(%)	分類
1	第373回利付国債(2年)	0.10	2019/2/15	13.2	国債
2	第129回利付国債(5年)	0.10	2021/9/20	8.5	国債
3	第342回利付国債(10年)	0.10	2026/3/20	4.5	国債
4	第127回利付国債(5年)	0.10	2021/3/20	4.2	国債
5	第123回利付国債(5年)	0.10	2020/3/20	4.0	国債
6	第126回利付国債(5年)	0.10	2020/12/20	2.8	国債
7	第333回利付国債(10年)	0.60	2024/3/20	2.7	国債
8	第330回利付国債(10年)	0.80	2023/9/20	2.6	国債
9	第203回政府保証預金保険機構債	0.10	2020/1/17	2.4	政保債
10	第344回利付国債(10年)	0.10	2026/9/20	2.4	国債
11	第340回利付国債(10年)	0.40	2025/9/20	1.9	国債
12	第148回利付国債(20年)	1.50	2034/3/20	1.7	国債
13	第338回利付国債(10年)	0.40	2025/3/20	1.7	国債
14	第5回利付国債(40年)	2.00	2052/3/20	1.5	国債
15	第17回利付国債(30年)	2.40	2034/12/20	1.5	国債

※ 比率は国内債券現物対比です。

組入銘柄総数 69銘柄

## JA日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

## &lt;運用担当者のコメント&gt;

## ●1月の市場動向と運用状況

(市場動向)

1月の10年国債利回り(以下「長期金利」という)は、前月末対比で上昇(債券価格は下落)しました。

月前半は、円安・株高を受けて金利上昇する場面も見られましたが、具体的な経済政策への言及を欠くトランプ新大統領の会見を受けて、米国長期金利が低下(債券価格は上昇)したことや、国債の入札が無難な結果となり、国内債券買いの安心感が市場に広がったことから、長期金利は概ね横ばいでの推移となりました。

月後半は、イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長らの発言が金融引き締めに肯定的と受けとめられたことや株価の堅調な推移を受けて米国長期金利が上昇したこと、日銀が短中期債の買入れオペ実施を見送ったことで、中長期的な日銀による国債買い支え期待が低下したことなどから金利は上昇し、月間で上昇しました。

(運用状況)

当ファンドにおける修正デュレーション(金利感応度)はベンチマーク対比で概ね中立に維持しました。保有しているマザーファンドの当月末修正デュレーションは、ベンチマーク対比+0.04年程度となりました。当月のベンチマークに対する相対パフォーマンスは-0.03%となりました。

日本10年国債利回り



## ●今後の市場見通しと運用方針

(市場見通し)

日本国債については、日銀による金融政策の維持が見込まれることから、10年程度までの国内金利については低位での推移が継続しそうです。

米欧の金利動向次第では、日本国債も追随する形で上下する可能性があるため注意が必要です。日銀によるマネタリーベース(中央銀行が供給する通貨量)の拡大方針や、長期金利が現状程度の水準から大きく上昇した場合には、日銀が金利の上昇を抑えるため、指定した利回りによる国債買入れ(指値オペ)や、国債買入れ額の増額を実施すると考えられることから10年程度までの国内金利は現状水準程度で推移しそうです。

一方で、10年を超える金利については、緩やかな上昇であれば日銀は一定程度容認すると考えられ、すでに国債買入れ額の一部減額が実施されていることも勘案すると、中長期的には金利上昇圧力が勝る展開となりそうです。

(運用方針)

当ファンドにおける当面の運用方針については、引き続き、修正デュレーションや、イールドカーブ(利回り曲線)、事業債等の組入比率などをベンチマーク対比で中立とすることを基本としつつも、機動的に対応していく方針とします。

(参考:日本経済の現況)

外需は反発の兆しが見受けられ、輸出の回復から生産動向の持ち直しが伺えます。内需については、消費者心理に持ち直しの兆しが見られるものの、基調としてはやや低調に推移しており、個人消費は力強さに欠ける状態です。そのため、日本経済は総じて横ばい圏で推移しそうです。

物価は、エネルギー関連のマイナス幅の縮小が見られますが、基調としては力強さを欠いており、小幅な改善に留まりそうです。日銀による緩和的な金融政策の継続が想定されるものの、すでに国債市場における日銀の保有割合は高水準で推移しており、国債買入れ額の一部減額が実施されていることには注意が必要です。

※運用担当者のコメントは1月末時点のものです。また、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。



## JA日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

## ○お申込みメモ

- 購入 いつでもご購入いただけます。
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込日の基準価額
- 購入時手数料 購入申込日の基準価額に0.216%(税抜0.20%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
  
- 信託設定日 2000年12月22日
- 信託期間 無期限
- 信託報酬 純資産総額に対して年0.432%(税抜0.40%)
- 決算日 毎年7月16日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 原則として実質的な利子・配当収益に相当する収益を中心に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。分配金再投資(累積投資)専用ファンドですので、収益分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
  
- 換金 いつでも解約請求によってご換金いただけます。
- 換金単位 1口単位
- 換金価額 ご解約申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 信託財産留保額 ご解約申込日の基準価額に0.05%を乗じた額
- 換金代金の支払い ご解約代金は原則として換金申込日から起算して4営業日目から支払いを行います。
  
- 税金
  - <個人のお客様の場合>
    - ・収益分配時の普通分配金については、配当所得として取り扱われ、課税されます。
    - ・換金時ならびに償還により交付を受ける金銭等は、譲渡所得とみなし、譲渡益に対し課税されます。
  - <法人のお客様の場合>
    - ・収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対し課税されます。

※ 税制が改正された場合等には、上記の内容が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署などへお問い合わせください。

金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、ご購入申込みもしくはご換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けたご購入申込みもしくはご換金申込みを取り消す場合があります。

## ○委託会社、その他の関係法人

- ◆委託会社: 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第372号 一般社団法人 投資信託協会会員/一般社団法人 日本投資顧問業協会会員)  
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
- ◆受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)  
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- ◆販売会社: 以下をご覧ください。  
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の先までお問い合わせください。

- ◆農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
- ホームページ: <http://www.ja-asset.co.jp>
- フリーダイヤル: 0120-439-244(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

お申込、投資信託説明書(交付目論見書)のご提供は

## JA日本債券ファンド

追加型投信／国内／債券

## ○主なリスクと手数料

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

## ＜当ファンドに係るリスクについて＞

当ファンドは、主にわが国の公社債を実質的な投資対象としますので、国内金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、組入公社債の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」や「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## ＜当ファンドに係る手数料等について＞

◆申込手数料（1口当たり）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に0.216%（税抜0.20%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.432%（税抜年0.40%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額（1口当り）・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の基準価額に0.05%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.00324%（税抜年0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引、オプション取引等に要する費用、外国における資産の保管時に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、受託者の立て替えた立替金の利息、資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「費用と税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## ○留意事項

■ 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社（以下、「当社」といいます。）が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

■ 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。

■ 当ファンドは、公社債などの値動きの生じる証券に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。

■ 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金（貯金）保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

■ ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。

■ NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社が公表している指数で、野村證券株式会社の知的財産です。また、野村證券株式会社は当ファンドの運用成果等に関して一切責任ありません。